

令和4年度以降の新規就農者との意見交換会で寄せられた意見について（令和6年2月協議）

（テーマ）

- ・就農後の農業経営について

No	令和4年度以降の新規就農者からの主な意見	常任委員会での協議内容
1	<p>学校給食における白山市のブランド野菜と米粉の利用を促進してほしい。</p>	<p>学校給食における白山ブランド野菜の利用については、平成29年度より、白山めぐみん給食として取り組み、利用促進しています。ブランド野菜の松任トマトや松任梨、ブロッコリーなどを取り入れた給食の日を設定し、調理し提供するのと併せて、食材について市内のどこで作られているかなども紹介しています。</p> <p>次に、米粉の利用について、学校給食で出されるシチューなどのルーにつきましましては、調理員が手作りしており、そのルーのとろみとして、小麦粉ではなく米粉を使用しています。これまでどおり、献立で利用できるところから取り組んでいきたいと考えています。</p>
2	<p>収入保険の保険料補助制度をつくってほしい。</p>	<p>収入保険は、自然災害による収量減少や市場価格の低下などのリスクに対応するため、国が収入保険制度を設け、平成31年1月にスタートした制度であります。県内でも一定の期間を設け、石川県をはじめ一部の市町で補助金制度を設けているところです。補助制度の創設につきましては、県の補助制度も令和5年度の単年度のみであることや、能登での営農もままならない状況など、農業者の経営努力では避けられない自然災害などのリスクに備えるため、本市でも財源を見極めながら制度の創設に前向きに検討したいと考えています。</p>